



第53回（令和6年度）全国豆類経営改善共励会 農林水産大臣賞ほか受賞者の決定と 表彰式開催について（お知らせ）

報道機関 各位

全国豆類経営改善共励会（主催＝ＪＡ全中、（株）日本農業新聞、後援＝農水省、ＪＡ全農、（公財）日本豆類協会）は、「第53回（令和6年度）全国審査委員会（審査委員長＝國分牧衛 東北大学名誉教授）」を開催いたしました。

審査の結果、農林水産大臣賞、農産局長賞など計5点の入賞者・団体を別紙のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

本共励会は、都道府県審査、ブロック審査を経て、全国審査では「大豆 家族経営の部」「大豆 集団の部」「小豆・いんげん・落花生等の部」の部門別に審査を行いました（今回は、「小豆・いんげん・落花生等の部」の全国審査への出品はありませんでした）。

表彰式は、6月27日（金）13:30 からＪＡビル（東京都千代田区大手町1-3-1）で予定しております。

また、本共励会の成績概要をまとめた冊子（PDF）を後日発行いたします。

お問い合わせは下記へ

全国豆類経営改善共励会事務局

（株式会社日本農業新聞 パートナー支援部）

担当：横田・伊藤 電話：03-6281-5811

e-mail：mamekyo@agrinews.co.jp

1. 全国豆類経営改善共励会とは

食料・農業・農村基本計画に基づき、食料自給率の向上を図る上で重要とされる豆類の生産を拡大するためには、経営規模の拡大や生産コストの低減、収量・品質の向上による所得の向上、実需者・消費者との連携による需要に見合った生産、加工による高付加価値化などの取り組みを推進し、国際的な穀物需給の動向や国の行う生産・流通・消費対策を踏まえた、商品性の高い豆類生産の定着を図ることが重要です。

このため、特に豆作の経営改善の面から先進的で他の範となる経営体および生産集団を表彰するとともに、その成果を広く紹介することを目的に運営しています。

2. 第53回（令和6年度）全国豆類経営改善共励会 受賞一覧

大豆 家族経営の部

賞 名	氏 名（年齢）	所 在 地
農 林 水 産 大 臣 賞	かぶしがいいしや のうじょう 株式会社おしの農場 だいひょう おしのかずゆき 代表 押野和幸（61）	山 形 県 天 童 市
農 林 水 産 省 農 産 局 局 長 賞	かぶしがいいしやとくなが ふ あ る 株式会社徳永ファーム だいひょう とくながひでのり 代表 徳永英憲（34）	佐 賀 県 佐 賀 市
全国農業協同組合中央会 会 長 賞	しみず ようすけ 清水 陽介（45）	福 岡 県 宗 像 市

大豆 集団の部

賞名	集団名	代表者氏名	所在地
農林水産省 農産局長賞	の う じ く み あ い ほう じん 農 事 組 合 法 人 い ま で ら	だいひょう り じ 代表理事 なかむら ひろあき 中 村 浩 章	福 岡 県 筑 後 市
全国農業協同組合 連 合 会 経営管理委員会 会 長 賞	と が り せいさんくみあい 戸 ヶ 里 生 産 組 合	だいひょう 代表 さだむ まつ ゆ う き 定 松 右 樹	佐 賀 県 杵 島 郡 白 石 町

※今回は、「小豆・いんげん・落花生等の部」の全国審査への出品はありませんでした。

3. 部門別参加点数

第53回（令和6年度）全国豆類経営改善共励会 部門別出品点数

		第53回 (令和6年度)	第52回 (令和5年度)	第51回 (令和4年度)	第50回 (令和3年度)	第49回 (令和2年度)
大豆	家族経営の部	77	80	24	24	20
大豆	集団の部	31	36	33	36	22
小豆・いんげん ・落花生等の部	小豆	70	70	33	30	2
	いんげん	0	0	0	0	0
	落花生等	0	0	30	0	0
	計	70	70	63	30	2
合 計		178	186	120	90	44

第53回（令和6年度）全国豆類経営改善共励会

ブロック別出品点数

ブロック	大豆		小豆・いんげん ・落花生等の部
	家族経営の部	集団の部	
北海道	50	5	70
東北	9	10	0
関東	0	0	0
北陸	0	2	0
東海	2	2	0
近畿	0	0	0
中国四国	0	0	0
九州	16	12	0
	77	31	70



◆日本農業新聞について

日本農業新聞は国内唯一の日刊農業専門紙です。1928年に創刊した「市況通報」を前身とし、90年以上にわたって農業の専門情報を伝えてきました。販売部数は、農業専門紙として国内最大の30万部。主力媒体である「日本農業新聞」のほか、1999年1月以降の110万件を超す記事閲覧や切り抜きなどができる「日本農業新聞データベース」や、農畜産物の価格を示す「netアグリ市況」、農産物直売所情報誌「フレ・マルシェ」などを展開しています。食と農の総合情報メディアとして、多メディア展開を加速します。